

製品名: DLC-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10010**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

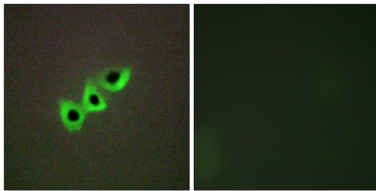
遺伝子名	DLC1
別名	DLC1; ARHGAP7; KIAA1723; STARD12; Rho GTPase-activating protein 7; Deleted in liver cancer 1 protein; DLC-1; HP protein; Rho-type GTPase-activating protein 7; START domain-containing protein 12; StARD12; StAR-related lipid transfer protein
遺伝子 ID	10395.0
SwissProt ID	Q96QB1
免疫原	抗血清はヒト RHG07 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

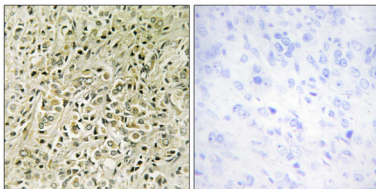
この遺伝子は、低分子 GTP 結合タンパク質の調節に関与する rhoGAP ファミリータンパク質の一員である GTPase 活性化タンパク質 (GAP) をコードしています。GAP ファミリータンパク質は、細胞骨格変化に関与する細胞プロセスを制御するシグナル伝達経路に関与しています。この遺伝子は、前立腺がん、肺がん、大腸がん、乳がんなど、多くの一般的ながんにおいて腫瘍抑制遺伝子として機能します。この遺伝子には、選択的プロモーターおよび選択的スプライシングに起因する複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010 年 4 月]機能: Rho 特異的な GTPase 活性化タンパク質および生体内 PLCD1 の活性化因子として機能し、細胞骨格の再編成を介して形態変化および剥離を引き起こします。配列注意: キメラ。位置 1 から 13 までの配列はキメラによるものです。類似性: Rho-GAP ドメインを 1 つ含みます。類似性: SAM (無菌アルファ モチーフ) ドメインを 1 つ含みます。類似性: START ドメインを 1 つ含みます。組織特異性: 脾臓で最も高いレベルの発現が見られ、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸ではそれよりも低いレベルですが、胸腺では発現が見られません。、

研究分野

画像データ



RHG07 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



RHG07 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。